

次世代技術における製品の飛躍と新規小売価格の制定とグローバル市場における標準化

黒田インターナショナルコンサルティング

黒田 毅

現状の産業革命は、自由経済システムにおける新しい未来の創造が、そのもっともな高揚を経て、現実を与えているのである。経済はその競争原理において、自己環境を競うのである。

これらは技術製品における新しい可能性は、製品価格における優位性ととも、グローバル市場への新たな挑戦を可能とできるのである。

APPLE 製品における考察は、彼らが自己コンセプトを諦めなかったことであり、製品の優位性ととも、市場を占有しているのである。これらは全ての企業が自己製品構築への参考として理解を求められるものである。

これらは製品の完成度の追求は再度企業において求められて良いと考える。これらは顧客の要求は機能性と完成度であることは正しいのである。それとともに価格アドバンテージを構築できれば、市場における大きな需要を期待できるのである。

世界販売への標準化は、優れたシステムと製品は、同一環境における市場アクセスを可能とできるという真実なのであり、大手メジャーの企業構築はこれに寄るのである。

独自アイデアは、市場における自己構築を予測し、どのような需要が期待できるか予測できるのであり、これらは優れたコンセプトと独自性という新しい現実を企業に要求するものである。これらは先端性への追随でなく、独自企業の理解やアイデアが製品化を経て、市場へ参加することは可能なのである。

これら現実は、新しい挑戦者たちが、その独創性と創造性において市場を席卷している現実への正しい考察であると考えられる。

これらは明らかに新しい可能性なのであり、企業は明確な理解を要求されるものである。可能性は飛躍を可能とできるのである。

これら新しいビジネスコンセンサスは、自己改革を要求するものである。それは既存現実が通用しないことは、全ての企業家が必ず理解できるのである。